

伊勢・三河湾貧酸素情報 (R1-6号)

令和元年7月11日
愛知県水産試験場 漁場環境研究部

令和元年7月9日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は下記のとおりです。

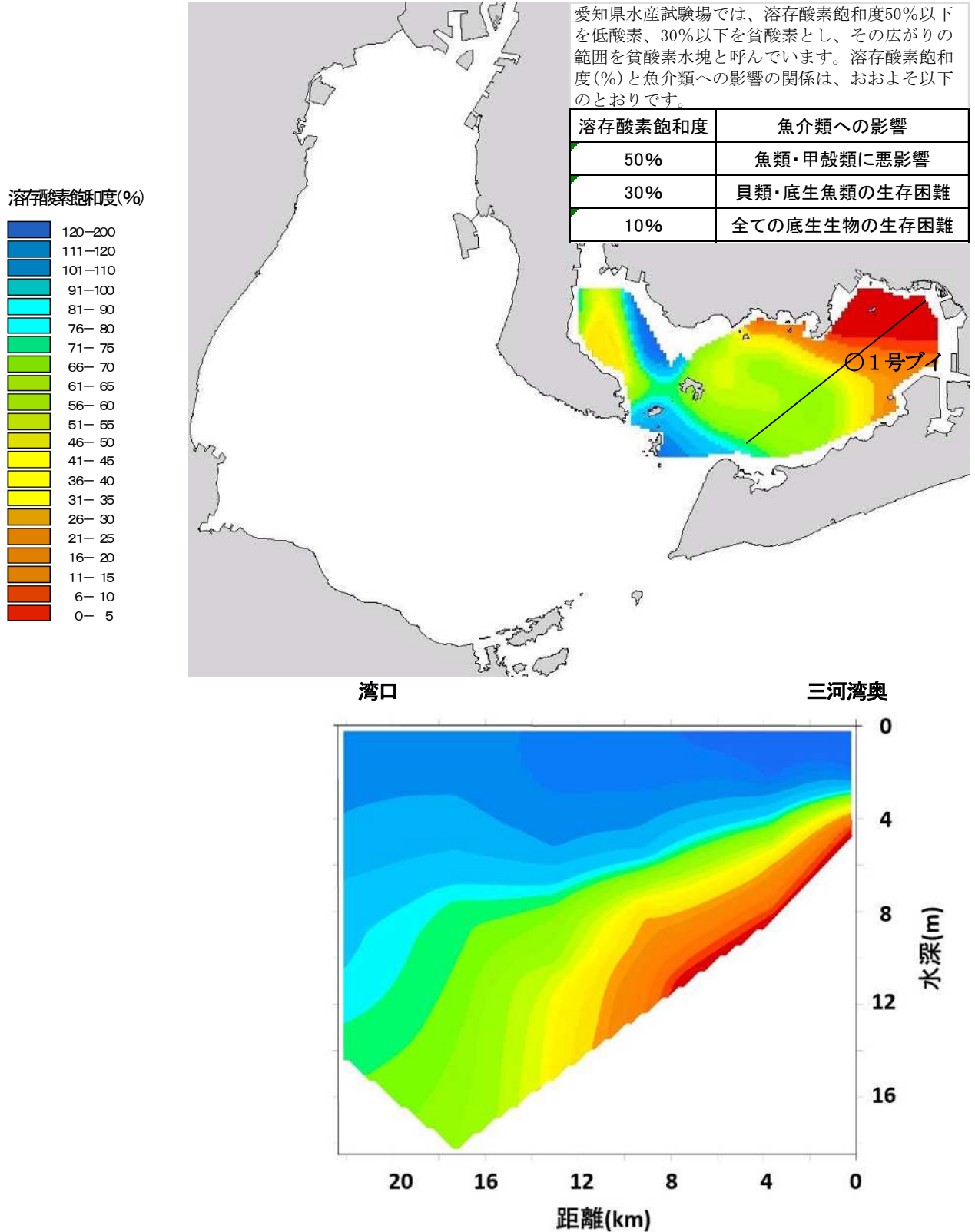


図1 三河湾 (7月9日) 底層の溶存酸素飽和度の分布 (上図) 及び上図直線部分の鉛直分布 (下図) (愛知県「へいわ」調査)

三河湾

7月9日の調査結果を図1に示しました。前回調査（7月4、5日）に比べ、渥美湾奥部で溶存酸素飽和度10%以下の範囲が拡大していました。知多湾の貧酸素水塊は解消しましたが、引き続き溶存酸素飽和度の低い状態が続いています。

三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ（蒲郡沖）では、底層で溶存酸素飽和度が低い値で推移している様子が観測されています（図2）。

気象庁が発表した週間予報では、平年よりも降水量が多いと予測されています。降雨の影響により表層塩分が低くなることから海水の上下混合が起きにくくなるため、貧酸素水塊の規模は拡大するものと考えられます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	23.4~25.5	25.7~31.0
底層	21.6~24.4	29.5~32.8

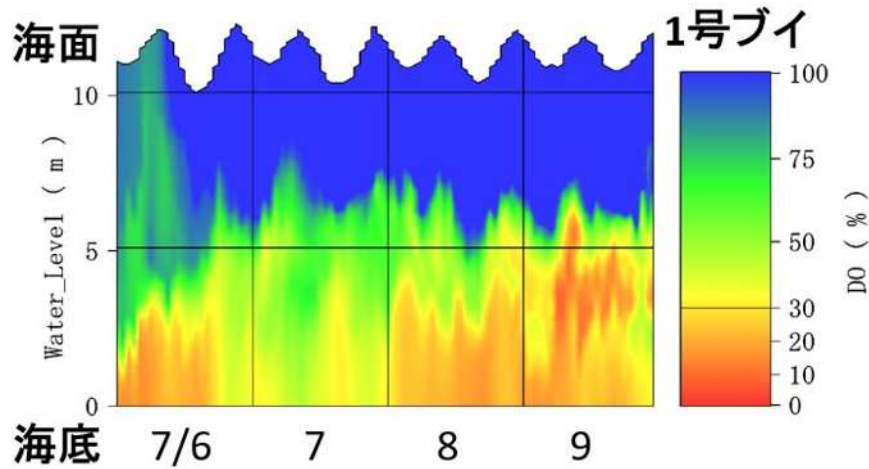


図2 溶存酸素飽和度（DO）の経時変化（三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ）

参考

前回調査時の底層の溶存酸素状況（図3）

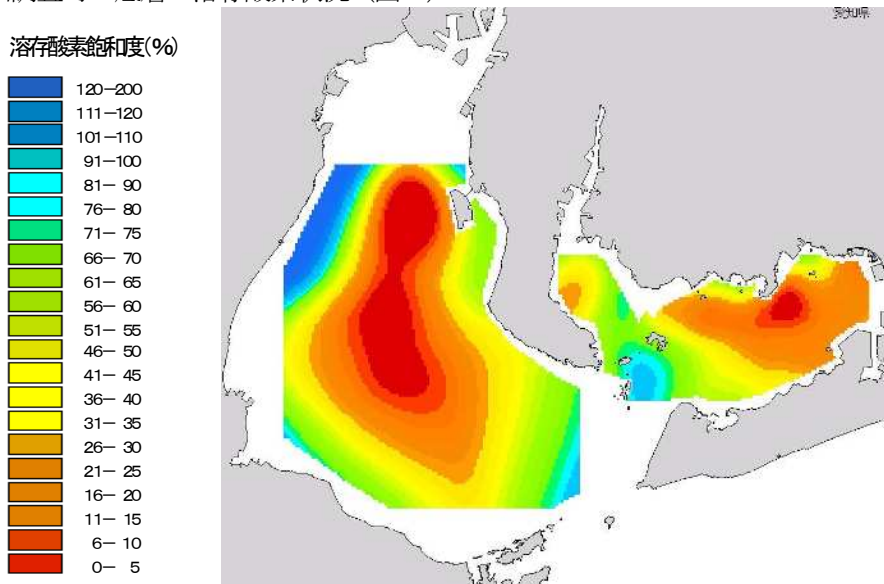


図3 令和元年7月1、2、4日（伊勢湾）、7月4、5日（三河湾）